

2 令和元年主要災害種類別被害概況

(1) 令和元年8月の前線に伴う大雨による農作物被害

令和元年8月の前線に伴う大雨により、冠水等が発生し、被害面積は1万4,400ha、被害見込金額は17億6,000万円となった。

ア 作物別被害

作物別の被害見込金額は、アスパラガス等の野菜が9億7,900万円（被害総額の56%）と最も大きく、次いで切り花類等のその他農作物が3億2,200万円（同18%）、大豆が2億3,500万円（同13%）となった。

イ 都道府県別被害

都道府県別の被害見込金額は、福岡県が14億円（被害総額の80%）と最も大きく、次いで佐賀県が3億4,800万円（同20%）となった。

(参考) 気象概況

日本付近では、8月26日は、前線が華中から九州南部を通過して日本の南へのびていた。8月27日には前線が対馬海峡付近から東日本に北上し、前線上に低気圧が発生して日本海を北東へ進んだ。その後8月29日にかけて前線は対馬海峡付近から東日本に停滞した。この前線に向かって暖かく非常に湿った空気が流れ込んだ影響等で、東シナ海から九州北部地方にかけて発達した雨雲が次々と発生し、線状降水帯が形成・維持された。このため、九州北部地方では、8月26日から8月29日までの総降水量が長崎県平戸市平戸で626.5ミリ、佐賀県唐津市唐津で533.0ミリに達するなど、8月の月降水量の平年値の2倍を超える大雨となったところがあった。

表1-1 被害概況（総括表）

区 分	被 害 面 積		被 害 量	被害見込金額	構成比	主 な 被 害 地 域
	30%以上	30%以下				
	ha	ha	t	100万円	%	
総 数	14,400	1,160	5,140 8,230 千本	1,760	100	福岡、佐賀
水 陸 稲	6,450	31	859	177	10	佐賀
雑 穀 ・ 豆 類	7,540	969	1,790	235	13	福岡
野 菜	295	141	2,360	979	56	福岡、佐賀
果 樹	77	8	132	42	2	
そ の 他 農 作 物	20	13	8,230 千本	322	18	福岡

- 注：1 被害面積欄に示されている「30%以上」は、被害量が平年（平均）収量の30%以上あった面積をいう（以下の各表において同じ。）。
- 2 その他農作物は、切り花、種苗・苗木類等である（以下の各表において同じ。）。
- 3 被害量の単位はtである。それ以外は、切り花及び種苗・苗木類は千本、鉢物類は千鉢、切り葉は千枚である（以下の各表において同じ。）。
- 4 構成比は、表示単位未満を四捨五入しているため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある（以下の各表において同じ。）。

(2) 台風第15号による農作物被害

台風第15号により、茎葉の損傷、落果等が発生し、被害面積は2万1,600ha、被害見込金額は67億1,000万円となった。

ア 作物別被害

作物別の被害見込金額は、トマト等の野菜が41億5,000万円（被害総額の62%）と最も大きく、次いで日本なし等の果樹が10億2,000万円（同15%）、水稻が8億9,500万円（同13%）となった。

イ 都道府県別被害

都道府県別の被害見込金額は、千葉県が55億8,000万円（被害総額の83%）と最も大きく、次いで茨城県が8億4,600万円（同13%）となった。

(参考) 気象概況

台風第15号は、9月7日から8日にかけて小笠原近海から伊豆諸島付近を北上し、9日3時前に三浦半島付近を通過して東京湾を進み、5時前に強い勢力で千葉市付近に上陸した。その後、9日朝には茨城県沖に抜け、日本の東海上を北東に進んだ。台風の接近・通過に伴い、伊豆諸島や関東地方南部を中心に猛烈な風、猛烈な雨となった。特に千葉市で最大風速35.9メートル、最大瞬間風速57.5メートルを観測するなど、多くの地点で観測史上1位の最大風速や最大瞬間風速を観測する記録的な暴風となった。

表2-1 被害概況（総括表）

区分	被害面積		被害量	被害見込金額	構成比	主な被害地域
	30%以上	30%以下				
	ha	ha	t	100万円	%	
総数	21,600	1,390	{ 25,000 8,120千本	6,710	100	千葉、茨城
水陸稲	8,820	296	4,020	895	13	千葉
かんしょ	104	-	260	46	1	
雑穀・豆類	4,660	199	344	177	3	
野菜	5,350	518	16,200	4,150	62	千葉、茨城
果樹	2,050	229	2,320	1,020	15	千葉
工芸農作物	84	73	15	11	0	
飼肥料作物	467	66	1,860	16	0	
その他農作物	24	10	8,120千本	393	6	千葉

(3) 台風第17号による農作物被害

台風第17号により、潮風害、倒伏等が発生し、被害面積は4万2,800ha、被害見込金額は28億7,000万円となった。

ア 作物別被害

作物別の被害見込金額は、水稻が20億9,000万円（被害総額の73%）と最も大きく、次いでかき等の果樹が3億7,700万円（同13%）、大豆等の雑穀・豆類が2億8,400万円（同10%）となった。

イ 都道府県別被害

都道府県別の被害見込金額は、佐賀県が15億2,000万円（被害総額の53%）と最も大きく、次いで福岡県が4億9,400万円（同17%）、長崎県が3億6,900万円（同13%）となった。

(参考) 気象概況

9月19日に沖縄の南で発生した台風第17号は、21日午前、強い勢力で沖縄地方に接近した後、22日夜には対馬海峡を抜けて日本海に入り、23日9時に日本海で温帯低気圧となった。その後は津軽海峡付近を東北東に進み、24日午前には千島近海へ進んだ。台風の接近・通過に伴い、沖縄県渡嘉敷村で32.9メートルの最大風速を観測するなど、沖縄地方で最大風速30メートル以上の猛烈な風を観測した。また、長崎市野母崎で最大風速29.2メートルを観測するなど、西日本の広い範囲で最大風速20メートル以上の非常に強い風を観測したほか、宮崎県延岡市では22日に竜巻が発生した。

表3-1 被害概況（総括表）

区 分	被 害 面 積		被 害 量	被害見込金額	構成比	主 な 被 害 地 域
	30%以上	30%以下				
	ha	ha	t	100万円	%	
総 数	42,800	3,330	16,000 233千本	2,870	100	佐賀、福岡、長崎
水 陸 稲	31,800	1,570	9,820	2,090	73	佐賀、長崎、福岡
雑 穀 ・ 豆 類	4,830	1,680	2,260	284	10	佐賀
野 菜	358	2	329	63	2	
果 樹	2,070	58	1,460	377	13	福岡
工 芸 農 作 物	3,630	-	2,070	46	2	
飼 肥 料 作 物	36	22	74	1	0	
そ の 他 農 作 物	68	-	233千本	6	0	

(4) 台風第19号等による農作物被害

台風第19号等により、浸冠水、土砂流入等が発生し、被害面積は2万9,200ha、被害見込金額は95億円となった。

ア 作物別被害

作物別の被害見込金額は、いちご等の野菜が58億2,000万円（被害総額の61%）と最も大きく、次いでりんご等の果樹が13億8,000万円（同15%）、水稻が13億円（同14%）となった。

イ 都道府県別被害

都道府県別の被害見込金額は、栃木県が28億6,000万円（被害総額の30%）と最も大きく、次いで福島県が20億1,000万円（同21%）、宮城県が15億5,000万円（同16%）となった。

(参考) 気象概況

10月6日に南鳥島近海で発生した台風第19号は、マリアナ諸島を西に進み、一時大型で猛烈な台風に発達した後、次第に進路を北に変え、日本の南を北上し、12日19時前に大型で強い勢力で伊豆半島に上陸した。その後、関東地方を通過し、13日12時に日本の東で温帯低気圧に変わった。雨については、10日から13日までの総降水量が、神奈川県箱根で1000ミリに達し、東日本を中心に17地点で500ミリを超えた。特に静岡県や新潟県、関東甲信地方、東北地方の多くの地点で3、6、12、24時間降水量の観測史上1位の値を更新するなど記録的な大雨となった。

また、10月25日に低気圧に向かって暖かく湿った空気が流れ込み、加えて台風第21号の影響により千葉県等で大雨となった。

表4-1 被害概況（総括表）

区 分	被 害 面 積		被 害 量	被害見込金額	構成比	主 な 被 害 地 域
	ha	30%以上 ha				
総 数	29,200	6,420	45,000 4,180 千本 94 千鉢	9,500 100万円	100 %	栃木、福島、宮城
水 陸 稲	4,610	1,450	6,480	1,300	14	福島、栃木、宮城
麦 類	6	0	2	0	0	
か ん し ょ	2	0	0	0	0	
雑 穀 ・ 豆 類	15,200	3,450	4,160	588	6	宮城、茨城、栃木
野 菜	3,430	710	20,500	5,820	61	栃木、宮城、福島
果 樹	3,380	286	7,140	1,380	15	長野、福島、新潟
工 芸 農 作 物	35	3	80	16	0	
飼 肥 料 作 物	2,470	507	6,680	66	1	
そ の 他 農 作 物	30	16	4,180 千本 94 千鉢	334	4	

(5) 11月11日の降ひょうによる農作物被害

11月11日の降ひょうにより、傷果等が発生し、被害面積は1,550ha、被害見込金額は16億5,000万円となった。

ア 作物別被害

作物別の被害見込金額は、みかん等の果樹が16億3,000万円となり、被害総額の99%を占めている。

イ 都道府県別被害

都道府県別の被害見込金額は、静岡県が15億9,000万円（被害総額の96%）と最も大きく、次いで愛知県が5,800万円（同4%）となった。

(参考) 気象概況

低気圧が日本海を発達して東に進み、寒冷前線が東海地方を通過した。また、上空に寒気が流れ込んだ影響により、大気の状態が不安定となり、静岡県や愛知県の一部地域で降ひょうがあった。

表5-1 被害概況（総括表）

区 分	被 害 面 積		被 害 量	被害見込金額	構成比	主 な 被 害 地 域
	30%以上	30%以下				
	ha	ha	t	100万円	%	
総 数	1,550	378	6,770 30千本	1,650	100	静岡
野 菜	90	6	157	20	1	
果 樹	1,460	371	6,610	1,630	99	静岡
そ の 他 農 作 物	1	1	30千本	1	0	